

一般社団法人日本鉱物科学会
平成28年度第2回定例理事会 議事録

1. 招集通知年月日：平成29年（2017年）3月15日
2. 開催年月日及び時刻：平成29年（2017年）5月19日(土)
16時15分～18時45分
3. 開催場所：東北大学東京分室 会議室A
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12
サピアタワー10階
4. 理事総数および定数：総数 32名，定足数 17名
5. 出席理事数：27名

出席：土山 明，榎並正樹，安東淳一，大和田正明，川本竜彦，鈴木正哉，伴 雅雄，三河内岳，宮脇律郎，吉朝 朗，阿部なつ江，井上徹，上原誠一郎，黒澤正紀，小暮敏博，下林典正，高澤栄一，長瀬敏郎(スカイプ参加)，中村美千彦，大藤弘明，鍵 裕之，貴治康夫，角替敏昭，永嶋真理子，濱本拓志，平島崇男，森下知晃，

6. 欠席理事数：5名

欠席：河上哲生，永井隆哉，土谷信高，佐藤 努，宮島 宏

7. 出席監事： 小山内康人

8. オブザーバー：(報告幹事，委員長)

出席：会計幹事：栗林貴弘(スカイプ参加)，JpGU連絡委員：大谷栄治，教育普及委員会委員長：奥山康子

欠席：Elements幹事：片山郁夫，博物館委員会委員長：坂野靖行，研究発表優秀賞選考委員会委員長：奥村 聡，櫻井賞選考委員会委員長：松原 聡

9. 議事概要

定足数17名を超える27名の理事が出席し，定款30条により理事会が成立したことを確認したのち，土山明会長が議長となり第2回理事会を開始した。

まず初めに，会議に先立ち，会長より書記として永嶋真理子理事が推薦され，満場一致で承認された。

次に平成28年度第1回議事録の確認をした。

1. 報告事項

1. 会長・副会長の職務執行報告（土山会長，榎並副会長）

各業務は各担当者に一任していることから，会長，副会長から個別の報告は特にないので，以下の順に沿って，各担当者に報告いただいた。

2. 会員報告（佐藤会員幹事・理事）報告代理中村庶務幹事・理事

平成28年第1回定例理事会以降の会員動静は，シニア会員1名の

ご逝去，退会者が21名(内訳：永年会員1名，シニア会員 4名，一般会員3名，学生会員13名)であった。また，平成28年9月の第1回理事会で「会員資格の喪失」対象者としてリストアップされた2年会費未納者17名のうち，保留期限以降も引続き2年会費未納者である7名と，住所不明者の3名について会員資格の喪失対象者と決定したことが報告された。

3. 広報報告（伴広報幹事・理事）

広報活動について以下の報告があった。

1) 広報委員会委員の主な役割の分担は昨年と同様：橋委員：将来計画委員会との連絡，門馬委員：ホームページ，亀井委員と奥村委員：学会ブース，奥村委員：学会Twitter管理。2) 会員へのML送信を実施した（2017年は現在までに9件）。内容は，学会事務連絡，公募案内，関連学会案内など。3) 一般社団法人化記念事業，日本の石(国石)の選定後の種々報告に関する対応を行った。4) 各賞受賞者へ受賞写真などを送付した。5) 一般社団法人化記念事業として，鉱物・岩石試料の寄贈を募った。池田保夫会員，武内浩一会員から寄贈。6) 連合大会で日本鉱物科学会ブース展示対応を行った。①学会誌GKK，JMPSの紹介と配布，②学会会員執筆書籍展示紹介，③学会員に配布されている「Elements」の紹介と配布，④「一家に1枚：鉱物-地球と宇宙の宝物」ポスターの紹介と配布，⑤ 寄贈試料の展示。⑥ 地学オリンピックで「一家に1枚：鉱物-地球と宇宙の宝物」ポスター配布。ポスターを追加印刷した。

4. 渉外報告（川本渉外幹事・理事）

渉外活動について以下のような報告があった。

「本学会会員執筆書籍の展示」は，今回も引き続き行われており，昨年までに献本された本は29冊であり，今回2017/04/13 にアナウンスして，新たに下記の1冊が献本された。

30冊目：火山学 執筆者名：吉田武義・西村太志・中村美千彦
出版社名：共立出版

5. 和文誌編集報告（長瀬和文誌幹事・理事）

報告代理高澤副委員長・理事

GKKの編集状況について以下の報告があった。

報告事項：

- 1) 平成29年5月17日現在，岩石鉱物科学45巻5号(9月号)～46巻2号(3月号)計4号が発行された。掲載件数頁数は以下の通り。原著論文2件20p，資料・解説7件58p，訂正2件1p，新刊紹介3件2p，ニュース(他学会案内，教官公募等)1p，投稿規定3p，学会記事(評議員会・総会議事録)24 p，年会案内9p，その他の記事2p，総目次3 p，広告10件5 p，白頁4p，4号分合計頁132p，1号平均頁52p。
- 2) 印刷状況：46巻2号(3月号)電子ジャーナル5月13日公開，冊子5月16日発送完了，46巻3号掲載時期，受理論文未定。
- 3) 現在査読中論文：3編。

編集委員会メール審議報告：

- 1) 2016/10/28のメール審議：①GKKへの学会プログラム掲載の取りやめを承認した。②GKKへの日本の石についての紹介記事掲載を承認した。③論文掲載のフォーマットでの印刷を承認した。④論文印刷フォーマット掲載が認められた場合の掲載頁等を承認した。⑤依頼原稿担当者の変更 総説：長瀬委員長，鉱物の分析及び実験・観察のコツと勘どころ：小暮委員，日本新産鉱物情報：坂野委員，博物館紹介：宮島委員，フィールド紹介：高澤副委員長であった。
- 2) 2017/02/07のメール審議：その他の記事：国石選定事業と国石「ひすい」のカラー写真掲載印刷代について編集委員会として，多数決で承認した。

6. 英文誌編集報告 (平島英文誌幹事・理事)

JMPSの編集状況について以下の報告があった。
平成29年5月19日(日)13:15-13:45, 東北大学東京分室にてJMPS編集委員会が開催されたので報告, 審議について, 以下に報告する報告事項:

- 1) JMPS状況報告: JMPS111巻5号(10月号)~112巻2号(4月号)計4号が発行された。掲載件数頁数は以下の通り。Articles15件174p, Letters10件54p, Editorial 1p, 投稿規程4p, Index 4p, Contents6p, 白頁1p, 4号分合計頁244p, 1号平均頁61p。
 - 2) 今後の発行予定: 112巻3号(6月号)(印刷準備4編), 現在の編集状況: 査読中:13編, 返却中: 7編。
 - 3) 2015 JMPS Impact Factorは0.648である。
 - 4) 2017合大会講演を対象にLetterを募集中:投稿申込締切日: 2017年6月12日(月) 締切日厳守, 原稿提出締切日: 2016年7月12日(水) 締切日厳守。Letter企画の対応再確認: 時宜にかなった話題の迅速な掲載や, 興味深いデータをコンパクトに提供するという, Lettersの目的にそった原稿の投稿。Letters原稿の長さなど: 原則刷上り4頁以内, 最大6頁以内, 極力WEB サイトへのdepositは避けること。depositが多い場合はOriginal Articleへ変更する場合もある。JpGU講演発表はもとより, 年会発表講演Letter投稿も激減しています。
 - 5) 国石「ひすい(翡翠輝石, 翡翠輝石岩)」特集号報告ゲスト編集委員: 宮脇律郎, 辻森 樹, 宮島 宏, 招待原稿: 総説2編, 依頼原稿: 総説4編, 一般投稿 5編。6) その他
- 審議事項

- 1) 電子ジャーナルpdfファイルのコピー禁止セキュリティー解除の件について, JMPS 112巻3号(6月号)から解除することが承認された。
- 2) JMPS学生論文賞審査の以下の問題点について検討した。(a) 投票成立の定足数について, (b) 投票方法 (昨年より引き続き実施されている), (c) 原則2編以内の選び方について。3) 投稿論文不足の件などが審議された。

7. 庶務報告 (中村庶務幹事・理事)

平成28年度第1回評議員会以降, 1) 理事会開催関連, 2) 連合への対応, 3) 後援, 共催, 協賛, 4) 会員への連絡, 5) その他の対応について報告がなされた。特に法人化されたことで理事の理事会出席が重要になることから, 理事会へ出席し易い環境づくりを検討(インターネット利用WEB会議の可能な会場, またその費用など)してきたこと, 次回平成29年8月12日開催予定の第3回定例理事会開催のWEB参加について, 事前にWEB会議のテストが予定されていることが報告された。

8. 行事・年会報告 (黒澤行事幹事・理事, 井上2017年LOC委員長代理・理事)

- 1) 日本地球惑星科学連合2017年大会: 日程: 2017年5月20日(土)~5月25日(木), 会場: 幕張メッセ国際会議場
- 2) 日本鉱物科学会 2017年年会・総会: 日程: 2017年9月12日(火)~14日(木), 会場: 媛大学城北キャンパス, 内容: 「スペシャルセッション」3種, 「レギュラーセッション」8種, 講演申込み期間: 6月19日(月)9時~7月10日(月)17時 (WEBサイト利用)。詳細は年会HPをご覧ください。その後の変更点として,
 - ① 日本地質学会の後援を得て, 9月15日に巡検「愛媛県西条市市之川輝安鉱山の見学」を実施することになった。
 - ② 松山市内の宿泊予約困難状況から, 生協に依頼して予約できるようにした。
 - ③ 愛媛大学ミュージアムで特別展示「日本の石・愛媛の石・愛媛大の石」の企画があることが報告された。

9. Elements報告 (片山Elements幹事) 報告代理中村庶務幹事・理事

Elements 2017年掲載原稿について以下の報告があった。
以下の記事をJAMS Society Newsとして編集し, Elementsに投稿した。JAMSは1年間に6号で8ページ使用可(会員~1000名の学会)であり, 毎号1ページを目安に記事を作成している。

- ・ No.1(2月号): From the president(土山会長), Jadeite: the national stone of Japan(土山会長), Invitation to the JpGU-AGU Joint Meeting 2017, JMPS Vol. 111, no. 6.
- ・ No.2(4月号): Recent studies at the Isotope Imaging Laboratory (IIL), Hokkaido(坂本会員), JMPS Vol. 112, no. 1.
- ・ No.3(6月号): Reconsidering partially ordered(小松会員), JMPS Vol. 112, no. 2.
- ・ No.4(8月号) (予定): オマーンオフィオライト陸上掘削(高澤会員), JMPS Vol. 112, no. 3.
- ・ No.5(10月号) (予定): Japan Association of Mineralogical Sciences Awardees (1), JMPS Vol. 112, no. 4.
- ・ No.6(12月号)(予定): Japan Association of Mineralogical Sciences Awardees(2), Report of annual meeting of JAMS, JMPS Vol. 112, no. 5.

10. 平成28年度会計中間報告 (栗林会計幹事)

日本鉱物科学会平成28年度会計中間報告(平成28年9月1日~平成29年5月18日)では, ほぼ例年通りであるが, 特に収入で会費請求通知しているにもかかわらず, 学会費の納入が遅れていると資料を元に報告された。

11. 2016年年会会計決算報告 (栗林会計幹事)

2016年年会会計決算報告では, 金沢大学LOCのご尽力により助成金を得ることができ赤字となったことが報告された。なお, 法人化後は年会会計決算も7月の決算に合算され8月に監査を受け, 総会の承認を受けることになるので, 今回は報告のみとなる。

12. 将来企画委員会報告 (榎並委員長・理事)

平成29年5月19日14:30-15:30, 東北大学東京分室にて将来企画委員会を開催されたこと, それ以前にも数度のメール会議も行い, 以下の諮問について審議してきたことが報告された。

- (1) 理事会を構成する理事の人数
- (2) 研究発表優秀賞表彰式の実施方法
- (3) 外部団体からの受賞候補者推薦依頼への対応
- (4) IMAの国内委員会活動の活性化

13. 特務幹事(細則等検討担当)報告 (大和田特務幹事・理事)

(1) 運営細則, (2) 会費規定, (3) 各委員会内規など, (4) 各ガイドライン, (5) 選挙内規が細則等検討委員会で検討されてきたことが報告された。

14. 特務幹事(会員増対策担当) 報告 (吉朝特務幹事・理事)

会員増対策担当幹事から以下のような提案報告があった。
会員減少対策の一つとして, 1)会員の退会の現状を鑑み, 在籍40年(要討)以上をもって, *(永年)会員への移行を推薦する。⇒デメリット: 永年会員は会費が1,000円又は無料なので大幅な収入減少になる。2)マニア会員を設ける。(非選挙権・非アカデミック)会費の特例を考える(学生会員に含む?・会費半額・入会金無料・寄付歓迎) 当学会ではアマチュア愛好家は多くないので, 会計上の影響は少ないとみる。今後さらに検討することとなった。

15. 地惑連合報告 (大谷連絡担当委員)

・今回はAGUとのジョイントミーティングとして開催する。・セッション数255,英語セッションは153, 発表論文数5500, 参加者8000人の見込み。・来年以降に関しては, AGU, EGU, AOGSなどとジョイントセッションを継続する。・アジアの国との連携を検討。次回は, 台湾の地球科学連合との共同セッションを検討。・2020年は, 横浜で行う可能性を検討。第二回のAGUとのジョイントを検討する。・連合の定款を改定する。団体会員を代表する社員を廃止。社員はすべて正会員から選出。・この変更にもない, 学協会長会議を活性化する。・JGLに国石「ひすい」の記事が掲載されたことと, 2017連合大会出展者特典としての出展者ショートセミナーに「ひすい」の宣伝をすることで参加することが報告された。

16. 学術会議報告 (大谷学術会議連携会員)

・第23期が9月に終了し, 10月から新たな会員と連携会員が選出され, 委員会, 分科会などの再構築が行われる。会員, 連携会員の候補の推薦が行われた。推薦は現会員。・連携会員が行った。決定は会員による承認による。・大型研究計画の改訂の時期になっている。・分科会の活動に対する評価が行われた。・大学における軍事研究のありかたについて, 検討された。防衛施設庁の研究費については, 基礎研究であっても軍事の目的に使用することが明白であることから, これに申請することは望ましくないと結論付けた。そのような対応を各大学に求めることを幹事会声明として発表した。総会での決議は問題が先鋭化することを避けて, 行われなかった。

17. 三鉱連絡会報告 (中村庶務幹事・理事)

例年のJpGU開催中の三鉱連絡会議開催について, 事前に資源地質学会担当者とメールで検討したが, 特段の審議もないため, 今回は会議開催には至らなかった。

18. 各委員会委員選出報告 (中村庶務幹事・理事)

既に理事会にメールで報告しましたが, 平成29年1月5日締切で実施した平成28年度各委員会, 各賞選考委員投票結果を改めて報告します。理事32名中, 投票者は20名でした。

- 1) 将来企画委員会 [構成委員10名 (内2名は理事): 任期2年]
委員長(役職指定): 榎並正樹(副会長)
(新)委員9名選出: 阿部なつ江, 井上 徹, 大藤弘明, 鍵 裕之, 黒澤正紀, 中村美千彦, 永井隆哉, 永嶋真理子, 森下知晃
(次点): 河上哲生 オブザーバー(役職指定): 土山 明(会長)
- 2) 細則等検討委員会(構成委員5名: 任期2年)
委員長(役職指定): 大和田正明(細則等検討特務幹事)
(新)委員4名選出: 川本竜彦, 角替敏昭, 永井隆哉, 宮脇律郎
(次点): 佐藤 努 オブザーバー(役職指定): 榎並正樹(副会長)
- 3) 渡邊萬次郎賞選考委員会委員
[構成委員8名(うち2名は理事), 半数交代]
(新)任期2年委員4名選出: 上原誠一郎, 土谷信高, 宮島 宏, 吉朝 朗
(次点): 長瀬敏郎
- 4) 日本鉱物科学会論文賞選考委員会委員
[構成委員10名(内2名は理事) 半数交代]

(新)任期2年委員5名選出: 阿部なつ江, 井上 徹, 中村美千彦, 永嶋真理子, 平島崇男

(次点): 安東淳一

- 5) 日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会委員
[(構成委員10名(内2名は理事), 半数交代)
(新)任期2年委員5名選出: 井上 徹, 鍵 裕之, 黒澤正紀, 下林典正, 三河内岳
(次点): 佐藤 努

- 6) 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会委員
[構成委員10名(うち2名は理事), 半数交代]
(新) 任期2年委員5名選出: 上原誠一郎, 黒澤正紀, 小暮敏博, 鈴木正哉, 永井隆哉
(次点): 宮島 宏

なお, 下記教育普及委員会メンバーが委員長から指名されたのでお知らせします。

- 7) 教育普及委員会委員(構成委員5名(内1名は理事, 任期2年)
委員長(会長指名): 奥山康子
委員(委員長指名): 貴治康夫(理事), 林信太郎, 宮嶋 敏, 川手新一

19. その他 委員会報告

- 1) 新鉱物・命名・分類委員会報告(宮脇委員長・理事)
2017年4月から新種の承認に2段システムに変更されたことが報告された。

- 2) 教育普及委員会報告(奥山委員長)
・新しい学習指導要領の下での高校理科の科目「地学基礎」について, JpGUとして「主体的・活動的に深く学ぶために」という観点からの提言を行うべく, 教育検討委員会で活動中。
・「2017地学教育研究会」が, 11月に東大地震研究所で開催予定。

- 3) 博物館委員会報告(坂野委員長) 報告代理土山会長
北川隆司鉱物コレクション巡回展は, 大阪市立科学館・大阪市立自然史博物館にてJAMS後援で開催中(両館ともH29年6月4日まで)。その後最後の巡回地となる産業技術総合研究所地質標本館での開催(7月11日~10月1日)が予定されている。JAMSは後援予定。

- 4) 鉱物科学の教科書執筆の件(井上理事)
講談社サイエンティフィック「鉱物科学」の編集状況について, 現在原稿を集約中であり, 講談社の担当者に会う予定との報告があった。

- 5) 「鉱物と宝石の辞典」刊行について(土山会長)
原稿はそろっているので書店側に連絡するとの報告があった。

II. 審議事項

- 第1号議案 新入会承認の件(佐藤会員幹事・理事)
代理中村庶務幹事・理事

以下の一般会員6名, 学生会員6名の入会申込書が回覧され, 異議なく入会が承認された。

一般会員-6名-
学生会員-6名-

第2号議案 研究発表優秀賞選考委員会委員の報告と承認
(奥村委員長) 報告代理 (中村庶務幹事・理事)

研究発表優秀賞選考委員会委員長により交代委員5名が指名されたことについて審議され、承認された。

(新) 任期2年：門馬綱一(副委員長), 坂巻竜也, 三河内 岳,
三宅 亮, 齊藤 哲

第3号議案 各賞選考委員会報告と審議

1) 日本鉱物科学会賞選考委員会受賞候補者報告と審議
(井上委員長・理事)

日本鉱物科学会賞選考委員会井上委員長から第16回受賞候補者として大藤弘明会員, 第17回受賞候補者として川本竜彦会員が報告され、受賞者として承認した。

2) 渡邊萬次郎賞選考委員会受賞候補者報告と審議
(宮脇委員長・理事)

渡邊萬次郎賞選考委員会宮脇委員長から報告された小藤吉郎先生を平成28年度渡邊萬次郎賞第33回の受賞者として承認した。

3) 日本鉱物科学会論文賞選考委員会受賞論文候補報告と審議
(角替委員長・理事)

日本鉱物科学会論文賞選考委員会角替委員長から報告された以下の1編を受賞論文として承認した。

平成28年度日本鉱物科学会第18回論文賞受賞論文
推薦論文：Ti-in-garnet thermometer for ultrahigh-temperature granulites. JMPS, 111-3, 226-240 (2016)
授賞対象著者：Toshisuke KAWASAKI, Yoichi MOTOYOSHI

4) 日本鉱物科学会研究奨励賞受賞候補者報告と審議
(安東委員長・理事)

日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会安東委員長から報告された境 毅会員, 越後拓哉会員を平成28年度日本鉱物科学会研究奨励賞第21回, 第22回受賞者として承認した。

5) 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会受賞候補者報告と審議
(佐藤委員長・理事)報告代理中村庶務幹事・理事

日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会佐藤委員長, 代理中村庶務幹事から報告された 大里 齊氏を平成28年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞第10回受賞者として承認した。

6) 櫻井賞選考委員会受賞候補者報告と審議
(松原委員長) 代理宮脇委員・理事

櫻井賞選考委員会松原委員長, 代理宮脇委員から今年度は該当者なしとの報告がなされた。

7) 平成28年度JMPS学生論文賞受賞論文候補報告と審議
(平島JMPS編集委員長・理事)

平島JMPS編集委員長から報告された以下の2編を平成28年度JMPS学生論文賞受賞論文として承認した。

3D chemical mapping of 'Mn-caldra shaped zoning' garnet found from the Sanbagawa metamorphic belt of the Besshi district, SW Japan. 110-5, 197-213.

受賞者：Kenta YOSHIDA (吉田健太)

Cs-sorption in weathered biotite from Fukushima granitic soil. 110-3, 126-134

受賞者：Ryosuke KIKUCHI (菊池亮佑)

第4号議案 平成29年度収支予算案の審議 (栗林会計幹事)

栗林会計幹事から、予算案について説明があり、承認された。定款「第34条 本会の事業計画書、収支予算書については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の決議を経なければならない。これを変更する場合も、同様とする。」と規定されていることから、新事業年度が開始する8月1日の前の理事会は、今回の第2回理事会となり、規定に従い予算案を作成した。なお、7月31日の決算前に予算を立てたため、未定のところが多くなっているので、まずは、今回規定通り審議承認をいただきたい。その後の予算変更は再度理事会の決議を受けることになっているので、7月の決算後に補正予算を立て8月の第3回理事会に提出し最終承認をいただきたい。なお、予算は理事会承認事項で、総会承認事項ではないが、平成29年9月12日開催の平成28年度定時総会で最終平成29年度収支予算を報告する。(予算書は今後の平成28年度定時総会議事録を参照)。

第5号議案 細則等検討委員会答申と審議 (大和田委員長・理事)

大和田委員長から「細則など改正案」として、(1) 運営細則 (2) 会費規定 (3) 各委員会内規など (4) 各ガイドライン (5) 選挙内規等が答申されたが、今回は答申のみとして8月の第3回理事会まで各理事に内容を確認いただき第3回理事会にて承認を受けたいと提案があり承認された。

第6号議案 将来企画委員会答申と審議 (榎並委員長・理事)

榎並委員長から以下の点について答申され、認められた。
1) 理事の人数について、法人としての理事の役割、責任が重要になってきたことから、現在の32名から22名に変更することが答申され、承認された。なお、各委員会等における理事の構成について実務的に検討するために、細則等検討委員会を中心に会長、副会長が加わりWGを立ち上げてさらに検討することが承認された。
2) 研究発表優秀賞表彰式の実施方法について、クロージングセレモニーを行い、そこで表彰を行うことが答申され、承認された。なお、学生表彰を円滑に行うためのプログラムの組み方などの実務的な点は、行事委員、プログラム委員を中心に、学生発表選考委員長やセッションコンビナーと連絡を取り合い、調整を行うこととなった。
3) 外部団体からの受賞候補者推薦依への対応と、4) IMAの国内委員会活動の活性化については継続審議とすることが承認された。

第7号議案 岩石鉱物科学掲載予定の「その他の記事」掲載写真カラー印刷代件 (長瀬GKK編集委員長・理事)

平成29年2月21日に、理事会決議の省略に提案された標記の件は、理事全員の賛同が得られなかったため、今回改めて理事会に諮ることとなり、長瀬GKK編集委員長からカラー写真印刷代を学会負担することのGKK編集委員会審議結果が報告された。その結果、レイアウトを変え、カラー印刷ページを少なくすること(例えば、カラー写真を1頁にまとめること)でカラー印刷代を学会負担とすることで承認された。なお、現在電子ジャー

ナル公開の本文pdfは冊子と同じ体裁になっているが、電子ジャーナル公開用の本文pdfをカラー化することについて、GKK,JMPS編集委員会が会計幹事とともに検討することが会長から提案され、承認された。

第8号議案 年会開催地の件（黒澤行事幹事・理事）

- 1) 2018年年会開催地について、山形大学の伴LOC委員長代理から2017年5月10日に開催された第2回LOC会議について報告があり、日程とLOCメンバーが承認された。
日程：候補 2018年9月19日~21日、会場(山形大学)、巡検(実施の方向)、シンポジウム(案を考える)、補助金(県に相談する)。
LOCメンバー：実行委員長：中島和夫、連絡調整担当(副委員長)：伴雅雄、会場・案内担当：加々島慎一、物品調達担当：湯口貴史、懇親会担当：大友幸子、加々島慎一、アルバイト担当：湯口貴史、中島和夫、会計担当：岩田尚能、伴雅雄、巡検担当：大友幸子、中島和夫、伴雅雄、生協担当：岩田尚能、LOCからの行事委員：湯口貴史。
- 2) 2019年年会開催地選定の件について、西日本の大学での開催を検討中とのことが報告さ、具体的に九州大学開催を検討することで承認された。

第9号議案 名誉会員推薦の件（中村庶務幹事・理事）

理事会から名誉会員の推薦について諮問されたので、名誉会員推薦委員会を設置することが承認された。次に、理事会において正会員、名誉会員の中から以下の5名の会員を委員として選出した。
名誉会員推薦委員会：吉朝朗（委員長）、上原誠一郎、大和田正明、高澤栄一、平島崇男

第10号議案 JMPSひすい特集号招待著者のページチャージ無料の件（平島JMPS委員長・理事）

平島JMPS委員長から、112巻5号のひすい特集号の依頼著者のページチャージ無料について、JMPS編集委員会で承認されたことが紹介された。次の手続きとして、昨年の111巻2号,3号特集号の「招待外国人著者」のJMPSページチャージ無料と同様の理事会手続きを行うことから審議され、異議なく無料にすることが承認された。

その他報告

土山会長から平成29年5月17日に成山堂書店という書店から「ひすい」の本出版の打診があったことが紹介され、今後書店の意向などを確認しながら、引き続き検討していきたいとのことであった。

10. 閉会

以上の議事を終え、18時45分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、出席した会長、副会長及び監事がこれに記名押印する。

平成29年12月14日

会長	土山 明	印
副会長	榎並正樹	印
監事	小山内康人	印

(配布時捺印省略)